

U4MIDI WC

ユーザーマニュアル V05

こんにちは、CME のプロフェッショナル製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。マニュアルの写真は説明のみを目的としており、実際の製品は異なる場合があります。その他のテクニカル サポート コンテンツとビデオについては、次のページをご覧ください www.cme-pro.com/support/

重要な注意事項

- 警告

接続が不適切な場合、デバイスが損傷する可能性があります。

- 著作権

著作権 2025 © CME コーポレーション。全著作権所有。
CME は CME Pte.Ltd.を設立しました。その他すべての商標または登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

- 限定保証

CME は、この製品の 1 年間の標準限定保証を、CME の認定ディーラーまたはディストリビューターからこの製品を

最初に購入した個人または団体にのみ提供します。保証期間は、この製品の購入日から始まります。CME は、保証期間中の製造上の欠陥および材料の欠陥に対して、付属のハードウェアを保証します。CME は、通常の損耗、または購入した製品の事故や乱用によって引き起こされた損傷に対して保証しません。CME は、機器の不適切な操作によって引き起こされたいかなる損害またはデータ損失についても責任を負いません。保証サービスを受ける条件として、購入証明書を提出する必要があります。この製品の購入日を示す配達または販売領収書は、購入の証明です。サービスを受けるには、この製品を購入した CME の正規販売店または販売代理店に電話または訪問してください。CME は、現地の消費者法に従って保証義務を履行します。

● 安全情報

感電、損傷、火災、またはその他の危険による重傷や死亡の可能性を避けるために、常に以下にリストされている基本的な予防措置に従ってください。これらの注意事項には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 雷が鳴っている間は機器を接続しないでください。
- コンセントが湿気の多い場所用に特別に設計されていない限り、コードやコンセントを湿気の多い場所に設置しないでください。
- 機器を AC で駆動する必要がある場合は、電源コードが AC コンセントに接続されているときに、コードのむき出しの部分やコネクタに触れないでください。
- 機器をセットアップするときは、常に指示に注意深く従ってください。

- 火災や感電を防ぐため、機器を雨や湿気にさらさないでください。
- 機器を蛍光灯や電気モーターなどの電気インターフェース源から遠ざけてください。
- 機器をほこり、熱、振動から遠ざけてください。
- 機器を日光にさらさないでください。
- 機器の上に重いものを置かないでください。液体の入った容器を器具の上に置かないでください。
- 濡れた手でコネクタに触れないでください

パッケージ内容

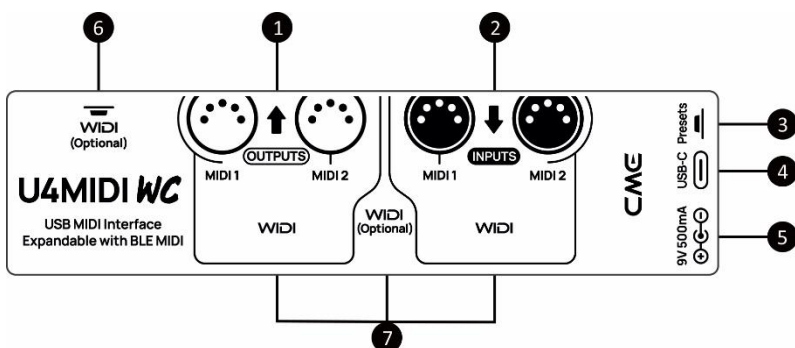
- 一. U4MIDI WC インターフェース
- 二. USB ケーブル
- 三. クイックスタートガイド

紹介

U4MIDI WC は、拡張可能なワイヤレス Bluetooth MIDI を備えた世界初の USB MIDI インターフェースで、USB を搭載した Mac や Windows コンピューター、iOS デバイスや Android デバイス(USB OTG ケーブル経由)を接続するためのプラグアンドプレイ USB MIDI インターフェースとして使用できます。USB-C クライアントポート×1、MIDI IN×2、MIDI OUT 標準 5 ピン MIDI ポート×2、さらにオプションの WIDI Core 双方向 Bluetooth MIDI モジュール用の拡張スロットを備えています。最大 48 の MIDI チャンネルをサポートします。

U4MIDI WC には、フリーソフトウェア UxMIDI ツール (macOS、iOS、Windows、Android で利用可能) が付属しています。ファームウェアのアップグレードだけでなく、MIDI の分割、マージ、ルーティング、マッピング、フィルタリングの設定にも使用できます。すべての設定は自動的にインターフェースに保存されるため、コンピューターに接続せずにスタンドアロンで簡単に使用できます。標準の USB 電源(バスまたはパワーバンク)または DC 9V 電源(別売)で給電できます。

U4MIDI WC は、最新の 32 ビット高速処理チップを使用しており、USB 経由の高速伝送を可能にして、大容量データの MIDI メッセージのスループットを満たし、サブミリ秒レベルで最高の遅延と精度を実現します。シンセサイザー、MIDI コントローラー、MIDI インターフェース、キーター、電子管楽器、V アコーディオン、電子ドラム、電子ピアノ、電子ポータブルキーボード、オーディオインターフェース、デジタルミキサーなど、標準の MIDI ソケットを備えたすべての MIDI 製品に接続します。



① 5 ピン DIN MIDI 出力 1 および 2 およびインジケータ

- これらの 2 つの MIDI OUT ポートは、標準 MIDI デバイスの MIDI IN ポートに接続し、MIDI メッセージを送信するために使用されます。
- 電源が入っているときは、緑色のインジケータライトが点灯したままになります。MIDI メッセージを送信すると、対応するポートのインジケータがすばやく点滅します。

② 5 ピン DIN、MIDI 入力 1 および 2、およびインジケータ

- これらの 2 つの MIDI IN ポートは、標準 MIDI デバイスの MIDIOUT または THRU ポートに接続し、MIDI メッセージを受信するために使用されます。
- 電源が入っているときは、緑色のインジケータライトが点灯したままになります。MIDI メッセージを受信すると、対応するポートのインジケータがすばやく点滅します。

③ プリセットボタン

- U4MIDI WC には 4 つのユーザープリセットが付属しています。電源オン状態でボタンを押すたびに、インターフェースは周期的に次のプリセットに切り替わります。すべての LED は、プリセット番号に対応する同じ回数点滅し、現在選択されているプリセットを示します。たとえば、プリセット 2 に切り替えると、LED が 2

回点減します。

- 無料の UxMIDI ツールソフトウェアを使用して、ボタンを切り替えて 16 の MIDI チャンネルのすべての出力に「すべてのノートオフ」メッセージを送信することもでき、外部デバイスからの意図しないノートのハングアップを排除できます。この機能を設定すると、電源がオンの状態でボタンをすばやくクリックできます。
- 電源が入ったら、ボタンを 5 秒以上押し続けてから離すと、U4MIDI WC が工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。

④ USB-C ポート

U4MIDI WC には、MIDI データを転送するためにコンピューターに接続するための USB-C ソケット、またはスタンドアロン使用のための 5 ボルトの電圧の標準の USB 電源(充電器、パワーバンク、コンピューターの USB ソケットなど)に接続するための USB-C ソケットがあります。

- コンピューターで使用する場合は、対応する USB ケーブルでインターフェースをコンピューターの USB ポートに直接接続するか、USB ハブを介してインターフェースの使用を開始します。プラグアンドプレイ用に設計されており、ドライバーは必要ありません。コンピューターの USB ポートは、U4MIDI WC に電力を供給できます。WIDI Core 拡張モジュールをインストールした後、インターフェイスは、元の 2 入力ポートと 2 出力ポートに基づいて、追加の 1-in-1-out USB 仮想 MIDI ポートを追加します。U4MIDI WC は、「U4MIDI WC」や「USB オーディ

オデバイス」など、オペレーティングシステムやバージョンごとに異なるクラスのデバイス名として表示される場合があります、名前の後にポート番号 0/1/2 または 1/2/3、および IN / OUT という単語が続きます。

マック OS

MIDI IN デバイス名	MIDI OUT デバイス名	形容
U4MIDI WC ポート 1	U4MIDI WC ポート 1	5 ピン DIN MIDI IN 1 & OUT 1
U4MIDI WC ポート 2	U4MIDI WC ポート 2	5 ピン DIN MIDI IN 2 & OUT 2
U4MIDI WC ポート 3	U4MIDI WC ポート 3	WIDI Core Bluetooth MIDI モジュール(インストールされている場合)。

ウィンドウズ

MIDI IN デバイス名	MIDI OUT デバイス名	形容
U4MIDI WC	U4MIDI WC	5 ピン DIN MIDI IN 1 & OUT 1
MIDIIN2 (U4MIDI WC)	MIDIOUT2 (U4MIDI WC)	5 ピン DIN MIDI IN 2 & OUT 2
MIDIIN3 (U4MIDI WC)	MIDIOUT3 (U4MIDI WC)	WIDI Core Bluetooth MIDI モジュール(インストールされている場合)。

- スタンドアロンの MIDI ルーター、マッパー、フィルターとして使用する場合は、対応する USB ケーブルを介してインターフェースを標準の USB 充電器またはパワーバンクに接続して開始します。

注意: 低電流充電モード(Bluetooth イヤホンやスマートブレスレットなど)があり、自動省電力機能がないパワーバンクを選択してください。

注意: UxMIDI ツールソフトウェアの USB ポートは、単一の USB-C ポートを介して実行される仮想ポートです。U4MIDI WC は USB ホストデバイスではなく、USB ポートはオペレーティングシステムに接続するためだけのものであり、USB 経由で MIDI コントローラー を接続するためのものではありません。

⑤ DC 9V 電源ソケット

9V 500mA DC 電源アダプターを接続して、U4MIDI WC に電力を供給できます。これはギタリストの便宜のために設計されており、ペダルボードの電源でインターフェースを駆動したり、USB 以外の電源が便利な MIDI ルーターなどのスタンドアロンデバイスとしてインターフェースを使用する場合に設計されています。電源アダプターは U4MIDI WC のパッケージに含まれておりませんので、必要に応じて別途お買い求めください。

! 電源アダプターは、プラグの外側にプラス端子、内側ピンにマイナス端子、外径 5.5mm のものをお選びください。



⑥ WIDI(オプション)ボタンと内部拡張スロット

このボタンは、オプションの WIDI Core Bluetooth MIDI モジュールがインストールされていない場合、機能しません。

U4MIDI WC には、CME の WIDI コアモジュールを装備して、16 チャンネルの双方向ワイヤレス Bluetooth MIDI 機能を拡

張できます。WIDI Core モジュールのインストール手順については、パッケージに印刷されたインストールガイドを参照し、技術仕様については、製品ページの www.cme-pro.com/widi-core/ をご覧ください。このモジュールは別途購入する必要があります。

オプションの WIDI Core Bluetooth MIDI モジュールをインストールすると、このボタンは特定のショートカットアクションを実行できます。まず、WIDICore ファームウェアが最新バージョンにアップグレードされていることを確認してください。次の操作は、WIDI BLE ファームウェアバージョン v0.2.2.1 以降に基づいています

- U4MIDI WC の電源が入っていない場合は、ボタンを押したまま、インターフェースの中央にある WIDI(オプション)インジケータが 4 回ゆっくり点滅するまで U3MIDI WC の電源を入れてから放します。WIDI Core Bluetooth モジュールは、手動で工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。
- U4MIDI WC の電源がオンになったら、ボタンを 3 秒間押し続けてから離すと、WIDI コアモジュールの Bluetooth の役割が手動で「周辺機器を強制」モードに設定されます(このモードはコンピューターまたは携帯電話に接続するために使用されます)。WIDI コアが以前に他の Bluetooth MIDI デバイスに接続していた場合、これによりすべての Bluetooth 接続が切断されます。

⑦ WIDI(オプション)および WIDI 入出力 Bluetooth MIDI インジケータ

WIDI Core モジュールがインストールされていない場合、これら 3 つのインジケータはオフになります。WIDI コア モジュールがインストールされている場合、WIDI (オプション) インジケータのステータスは次のようになります。

WIDI(オプション)インジケータ

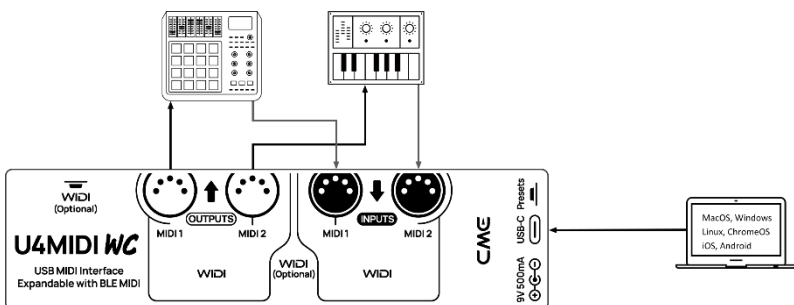
- 濃い青でゆっくり点滅:Bluetooth MIDI は正常に開始され、接続を待機しています。
- 濃い青に点灯:WIDI コアは、Bluetooth MIDI 周辺機器の役割として別の Bluetooth MIDI セントラルに接続されています。
- ライトブルー(ターコイズ):WIDI コアは、Bluetooth MIDI の中心的な役割として他の Bluetooth MIDI 周辺機器に接続されています。
- 緑色に点灯:WIDI コアはファームウェアアップグレードモードです。WIDI アプリ(iOS または Android)を使用してファームウェアをアップグレードしてください(アプリの ダウンロードリンクを取得するには、Web ページ BluetoothMIDI.com にアクセスしてください)。

WIDI 入出力インジケータ

- WIDI Core が MIDI メッセージを受信すると、それに応じて緑色の WIDIINPUT インジケータが点滅します。
- WIDI Core が MIDI メッセージを送信すると、それに応じて緑色の WIDIOUTPUT インジケータが点滅します。

有線 MIDI 接続

- U4MIDI WC を使用して外部 MIDI デバイスをコンピューターに接続する

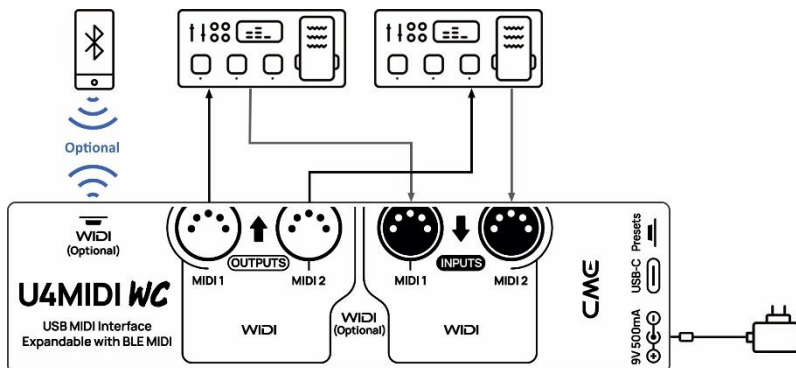


1. 付属の USB ケーブルを使用して、U4MIDIWC をコンピューターの USB ポートに接続します。複数の U4MIDI WC を USB ハブを介してコンピューターに接続できます。
2. MIDI ケーブルを使用して、U4MIDI WC の MIDIIN ポートを他の MIDI デバイスの MIDI OUT または THRU に接続し、U4MIDI WC の MIDIOUT ポートを他の MIDI デバイスの MIDIIN に接続します。
3. 電源がオンになると、U4MIDI WC の LED インジケーターが点灯し、コンピューターがデバイスを自動的に検出します。音楽ソフトウェアを開き、MIDI 設定ページで MIDI 入力ポートと出力ポートを U4MIDI WC に設定して、開始します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

注: U4MIDI WC には電源スイッチがないため、電源を入れるだ

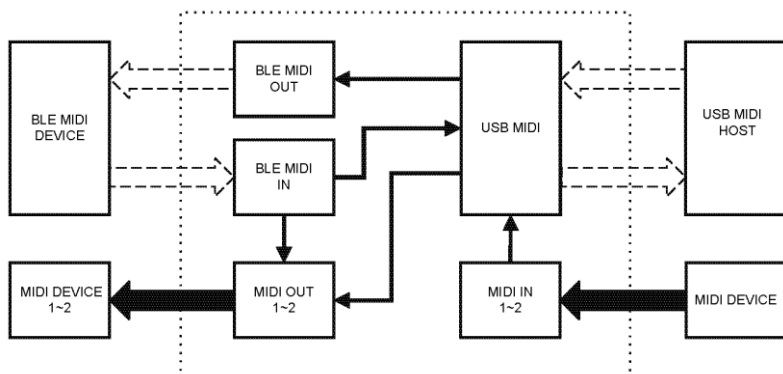
けで作業を開始できます。U4MIDI WC をパソコンに接続せずに単体で使いたい場合は、USB 電源やパワーバンクに直接接続することができます。

● U4MIDI WC を ギターペダルにスタンドアロンインターフェースとして接続します



1. 9V 電源アダプターを DC 電源ソケットに接続して、U4MIDIWC に電力を供給します
2. MIDI ケーブルを使用して、U4MIDI WC の MIDI IN ポートをギターペダルの MIDI OUT または THRU に接続し、U4MIDI WC の MIDI OUT ポートをギターペダルの MIDI IN に接続します。
3. U4MIDI WC は、プリセットのルーティングとパラメーター設定に従って、コンピューターに接続しなくてもスタンドアロンのインターフェースとして機能します。

● U4MIDI WC 初期信号フローチャート:



注意: BLE MIDI パートは、WIDI コアモジュールがインストールされた後にのみ有効になります。

注: 上記の信号ルーティングは、無料の UxMIDI TOOLS ソフトウェアを使用してカスタマイズできますので、詳細については、このマニュアルの[ソフトウェア設定]セクションを参照してください。

USB MIDI 接続のシステム要件

ウィンドウズ:

- USB ポートを備えた PC コンピュータ。
- オペレーティングシステム: Windows XP(SP3)/ Vista(SP1)/ 7/8/10/11 以降。

Mac OS X の場合:

- USB ポートを備えた AppleMac コンピューター。

- オペレーティングシステム:Mac OS X 10.6 以降。

iOS の場合:

- iPad、iPhone、iPod Touch なら何でも。 Lightning ポートを備えたモデルに接続するには、Apple カメラ接続キットまたは Lightning-USB カメラアダプターを別途購入する必要があります。
- オペレーティングシステム:Apple iOS 5.1 以降。

アンドロイド:

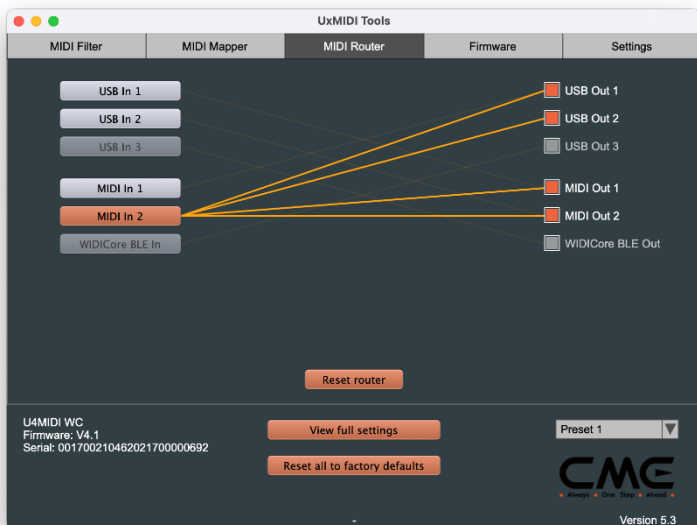
- USB データポートを備えたタブレットや電話。 USB OTG ケーブルを別途購入する必要がある場合があります。
- オペレーティングシステム:Google Android 5 以降。

ソフトウェア設定

次の URL にアクセスしてください: 無料の UxMIDI ツールソフトウェア(macOS X、Windows 7-64 ビット以降、iOS、Android と互換性あり)とユーザーマニュアルをダウンロードするには www.cme-pro.com/support/ してください。これを使用して、いつでも U4MIDI WC のファームウェアをアップグレードし、最新の高度な機能を利用できます。同時に、さまざまな柔軟な設定を実行することもできます。すべてのルーター、マッパー、フィルターの設定は、デバイスの内部メモリに自動的に保存されます。

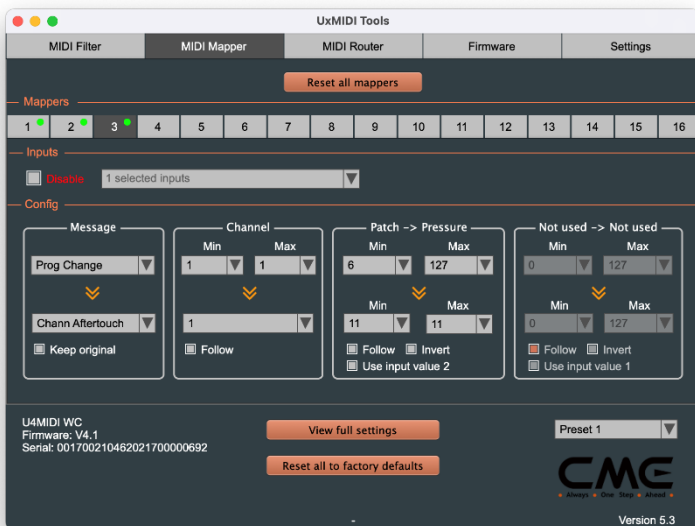
1. MIDI ルーター設定

MIDI ルーターは、U4MIDI WC ハードウェアの MIDI メッセージの信号フローを表示および構成するために使用されます。



2. MIDI マッパー設定

MIDI マッパーは、接続されたデバイスの選択した入力データを再割り当て(再マップ)して、ユーザーが定義したカスタムルールに従って出力できるようにするために使用されます。



3. MIDI フィルター設定

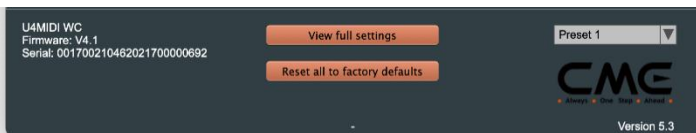
MIDI フィルターは、選択した入力または出力の特定のタイプの MIDI メッセージが通過するのをブロックするために使用されます。



4. すべての設定を表示し、すべてを工場出荷時のデフォルトにリセット

[View Full settings] ボタンは、現在のデバイスの各ポートのフィルター、マッパー、ルーターの設定を 1 つの便利な概要で表示するために使用されます。

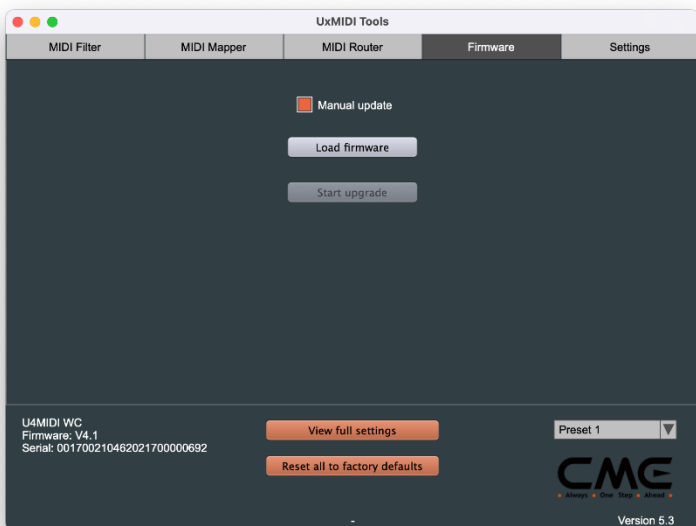
[すべてを工場出荷時のデフォルトにリセット] ボタンは、製品が工場から出荷されたときにユニットのすべてのパラメーターをデフォルトの状態にリセットするために使用されます。



5. ファームウェアのアップグレード

コンピュータがインターネットに接続されている場合、ソフトウェアは現在接続されている U4MIDI WC ハードウェアが最新のファームウェアを実行しているかどうかを自動的に検出し、必要に応じて更新を要求します。ファームウェアを自動的に更新できない場合は、[ファームウェア]ページで手動で更新できます。

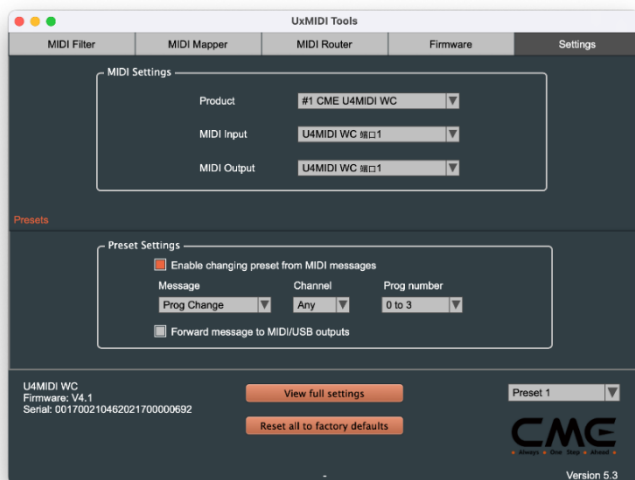
注意: 新しいファームウェアバージョンにアップグレードするたびに、U4MIDI WC を再起動することをお勧めします。



6. 設定

[設定]ページは、ソフトウェアでセットアップおよび操作する CME、USB、MIDI ハードウェアデバイスモデル、およびポートを選択するために使用されます。新しいデバイスがコンピューターに接続されている場合は、[Rescan MIDI] ボタンを使用して、新しく接続された CME USB MIDI ハードウェアデバイスを再スキャンし、[製品]および[ポート]のドロップダウンボックスに表示されるようにします。複数の CME USB MIDI ハードウェアデバイスが同時に接続されている場合は、ここでセットアップする製品とポートを選択してください。

プリセット設定エリアでは、MIDI ノート、プログラム変更、またはコントロール変更メッセージを介してユーザープリセットのリモート切り替えを有効にすることもできます。

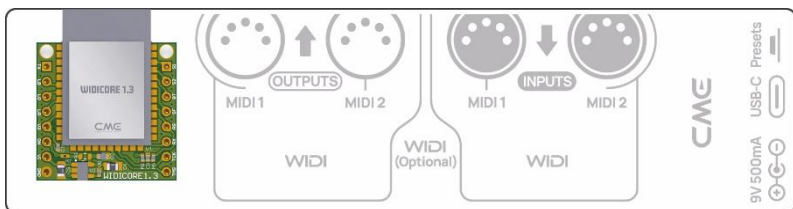


拡張 BLUETOOTH MIDI

U4MIDI WC には、CME の WIDI コアモジュールを装備して、1-in-1-out および 16 の MIDI チャンネルを備えた双方向 Bluetooth MIDI 機能を拡張できます。

● WIDICore を U4MIDI WC にインストールする

1. U4MIDI WC からすべての外部接続を削除します。
2. ドライバーを使用して、U4MIDI WC の下部にあるラベルの下にある 4 本の固定ネジを取り外し、アウターシェルを開きます。
3. 流水で手を洗って静電気を逃がし、パッケージから WIDICore を取り出してください。
4. WIDI コアを U4MIDI WC の拡張ソケットに、U4MIDI WC メインボードの上部から下図に示す方向に従って垂直 90 度の角度で水平かつゆっくりと挿入します。



5. U4MIDI WC のメインボードをケースに取り付け直し、ネジで固定します。

注 1: 製品パッケージには、参考用の「U4MIDIWC オプションの BluetoothMIDI モジュールインストールガイド」も含まれています。

注2:挿入方向や位置が間違っている、不適切な抜き差し、電源投入時のライブ操作、静電気などにより、WIDICore と U4MIDI WC が正常に動作しない、またはハードウェアが損傷する可能性があります。

● WIDI コアモジュールの Bluetooth ファームウェアをアップグレードします

1. Apple App Store、Google Play ストア、または [CME の公式にアクセスしてください web サイトのサポートページ](#)をクリックして、CME WIDI アプリを検索してインストールします。iOS または Android デバイスは、Bluetooth Low Energy 4.0 機能(またはそれ以降)をサポートしている必要があります。



2. WIDI アプリを開くと、WIDICore の名前がデバイスリストに表示されます。デバイスの名前をクリックして、ファームウェアのアップグレードページに入ります。次に、[開始]と[アップグレード]をタップすると、アプリがファームウェアの更新を行います(アップグレード処理中は、更新が完了するまで画面を ON にしてください)。
3. アップグレードが完了したら、WIDI アプリを終了し、U4MIDIWC を再起動します。

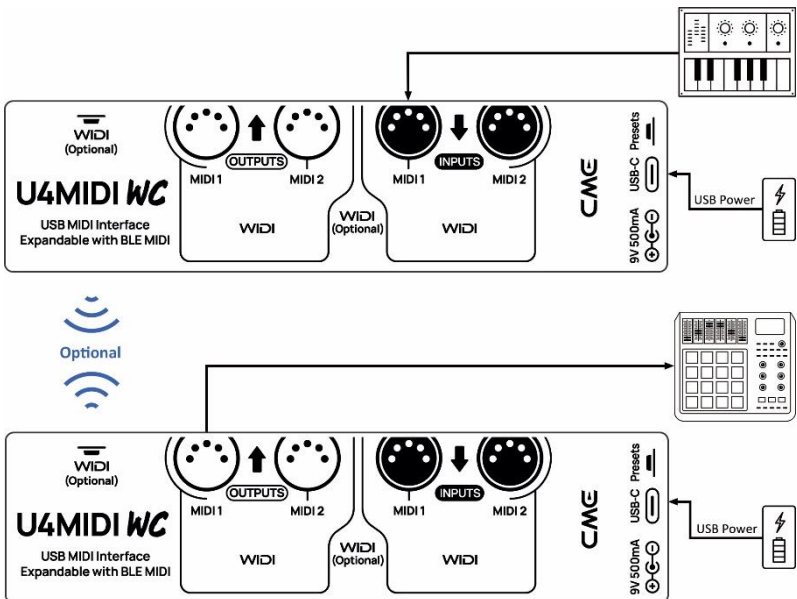
BLE MIDI 接続

(オプションの WIDI コア拡張モジュールが取り付けられています)

注意: すべての WIDI 製品は同じ Bluetooth 接続方法を使用します。したがって、次のビデオの説明では、例として WIDI マスターを使用しています。

- WIDI Core がインストールされている 2 つの U4MIDI WC WC インターフェース間で Bluetooth MIDI 接続を確立します

ビデオ指導: <https://youtu.be/Bhlx2vabt7c>

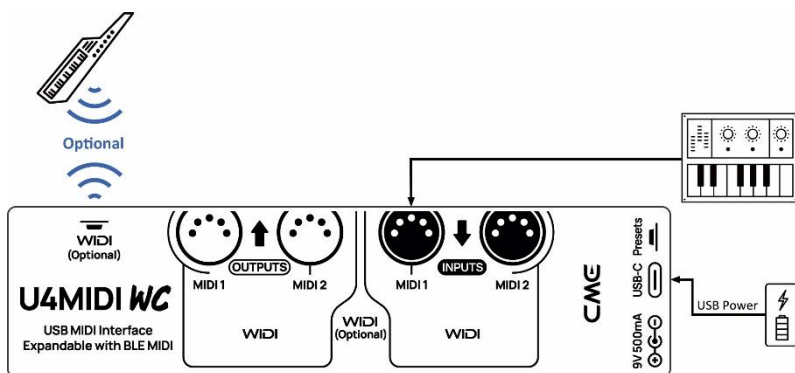


1. WIDI Core がインストールされている両方の U4MIDI WC の電源を入れます。

- 2つの U4MIDI WC は自動的にペアリングされます。
WIDI(オプション)のダークブルーLED ライトがゆっくり点滅から点灯に変わります(Bluetooth センtralとして自動的に機能する U4MIDI WC の1つの LED ライトはターコイズ色になります)。送信する MIDI データがある場合、データ転送中は両方のデバイスの LED が動的に点滅します。

- Bluetooth MIDI が組み込まれた音楽デバイスと WIDICore がインストールされた U4MIDI WC との間に Bluetooth MIDI 接続を確立します

ビデオ指導: <https://youtu.be/7x5iMbzf0o>



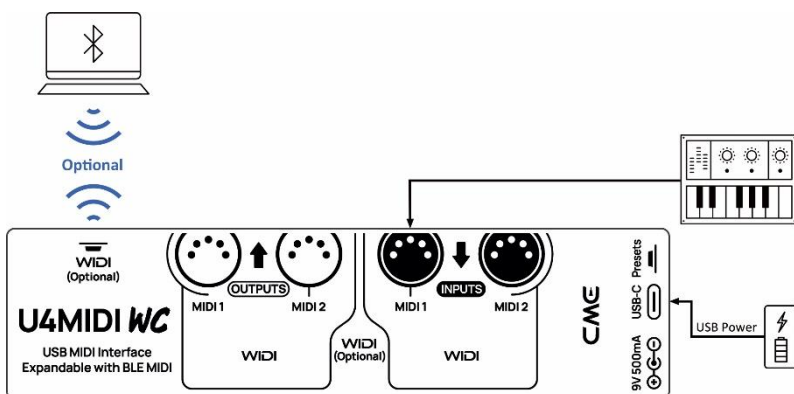
- Bluetooth MIDI が組み込まれた MIDI デバイスと、WIDICore がインストールされた U4MIDI WC の電源を入れます。
- WIDI Core は、別の MIDI デバイスの内蔵 Bluetooth MIDI と自動的にペアリングされ、その濃い青色の LED ライトがゆっくりと点滅する状態から単色のターコイズ色に変わ

ります。MIDI データが送信されると、データ転送中に LED ライトが動的に点滅します。

注意: WIDI コアが別の MIDI デバイスと自動的にペアリングできない場合は、互換性に問題がある可能性があります。CME BluetoothMIDI.com テクニカルサポートにお問い合わせください。また、モバイルデバイス、別の WIDI デバイス、またはオペレーティングシステムが自動接続プロセスを妨害していないか確認してください。他のすべての Bluetooth MIDI デバイスの電源がオフになっているか、WIDICore がモバイルデバイスまたはオペレーティングシステムの一般的な Bluetooth デバイスリストから削除されていることを確認してください。グループ自動学習機能を使用して、このマニュアルの後半で説明するように、固定ペアリングを作成できます。

- WIDI Core がインストールされている macOSX と U4MIDI WC の間に Bluetooth MIDI 接続を確立します

ビデオ指導: <https://youtu.be/bKcTfR-d46A>

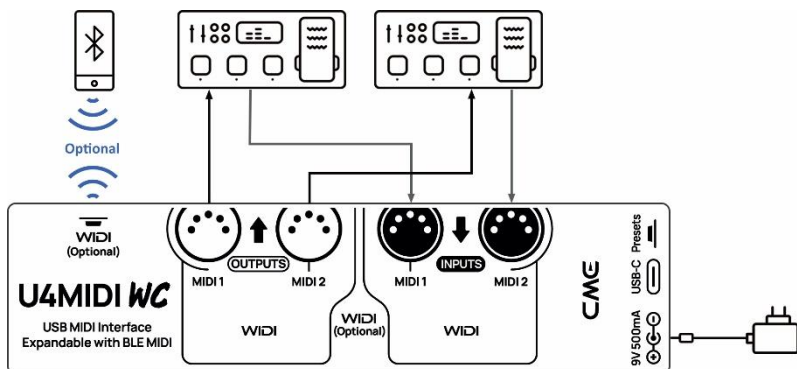


1. WIDI コアが取り付けられた U4MIDI WC の電源を入れ、濃い青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
2. Apple コンピュータ画面の左上隅にある[Apple アイコン]をクリックし、[システム環境設定]メニューをクリックし、[Bluetooth アイコン]をクリックして[Bluetooth をオンにする]をクリックし、Bluetooth 設定ウィンドウを終了します。
3. Apple コンピューターの画面上部の[移動]メニューをクリックし、[ユーティリティ]をクリックして、[Audio MIDI 設定]をクリックします。

注: MIDI Studio ウィンドウが表示されない場合は、Apple コンピューターの画面上部の[ウィンドウ]メニューをクリックし、[MIDI Studio を表示]をクリックしてください。

4. MIDI Studio ウィンドウの右上にある[Bluetooth アイコン]をクリックし、デバイス名リストの下に表示される WIDICore を見つけて[接続]をクリックすると、WIDICore の Bluetooth アイコンが MIDI スタジオウィンドウに表示され、接続が成功したことを示します。これで、すべてのセットアップウィンドウを終了できます。

- WIDICore がインストールされている iOS デバイスと U4MIDI WC との間に Bluetooth MIDI 接続を確立します
ビデオ指導: <https://youtu.be/5SWkeu2lyBq>



1. App Store にアクセスして、無料アプリ [midimitt] を検索してダウンロードします。

注意: 使用しているアプリにすでに Bluetooth MIDI 接続機能がある場合は、アプリの MIDI 設定ページで WIDICore を直接接続してください。

2. WIDI コアが取り付けられた U4MIDI WC の電源を入れ、濃い青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
3. [設定] アイコンをクリックして設定ページを開き、[Bluetooth] をクリックして Bluetooth 設定ページに入り、Bluetooth スイッチをスライドして Bluetooth 機能を有効にします。
4. midimitt アプリを開き、画面右下の [デバイス] メニューをクリックし、リストに表示される WIDICore を見つけて [未接続] をクリックし、Bluetooth ペアリングリクエストのポップアップウィンドウで [ペアリング] をクリックすると、リスト内の WIDICore のステータスが [接続済み] に更新され、接続が成功したことを示します。この時点

で、midimitttr は最小化され、iOS デバイスのホームボタンを押すことでバックグラウンドで実行し続けることができます。

5. 外部 MIDI 入力可能な音楽アプリを開き、設定ページで MIDI 入力デバイスとして WIDI Core を選択して使用を開始します。

注: iOS 16(以降)では、WIDI デバイスとの自動ペアリングが可能です。iOS デバイスと WIDI デバイス間の接続を初めて確認した後、WIDI デバイスまたは iOS デバイスで Bluetooth を起動するたびに、自動的に再接続されます。これは素晴らしい機能で、今後は毎回手動でペアリングする必要がなくなります。そうは言っても、WIDI アプリを使用している人にとっては、WIDI デバイスのみを更新し、Bluetooth MIDI 用の iOS デバイスを使用しないと混乱を招く可能性があります。新しい自動ペアリングは、iOS デバイスとの不要なペアリングにつながる可能性があります。これを回避するには、iOS デバイスで Bluetooth を終了するか、既存のペアリングを忘れてください。WIDI グループを使用して、WIDI デバイス間で固定ペアを作成できます。

● Windows 10/11 コンピューターと WIDI Core がインストールされている U4MIDI WC との間に Bluetooth MIDI 接続を確立します

まず、音楽ソフトウェアは、Windows 10/11 に付属の Bluetooth MIDI ユニバーサルドライバを使用するために、Microsoft の最新の UWP API インターフェイスプログラムを統合する必要があります。ほとんどの音楽ソフトウェアは、さまざまな理由でこの API を統合していません。私たちが知る限り、Bandlab の Cakewalk と Steinberg Cubase 12 以降のみがこ

の API を統合しているため、WIDI Core がインストールされている U4MIDI WC またはその他の標準の Bluetooth MIDI デバイスに直接接続できます。

もちろん、「Windows 10/11 Generic Bluetooth MIDI Drivers」と音楽ソフトウェアとの間で「Korg BLE MIDI driver」を使用するなど、ソフトウェア仮想 MIDI インターフェースドライバーを介した MIDI データ転送の代替ソリューションもあります。WIDI 製品は、Korg BLE MIDI Windows 10/11 ドライバーと完全に互換性があり、複数の WIDI をサポートして Windows 10/11 コンピューターに同時に接続し、双方向 MIDI データ伝送を実行できます。具体的なセットアップ手順は次のとおりです。

ビデオ指導: <https://youtu.be/JyJTulS-g4o>

1. コルグの公式にアクセスしてください [webBLE MIDI Windows ドライバーをダウンロードするためのサイト](https://www.korg.com/us/support/download/driver/0/530/2886/)。
www.korg.com/us/support/download/driver/0/530/2886/
2. 解凍ソフトウェアでドライバーファイルを解凍した後、exe ファイルをクリックしてドライバーをインストールします(インストールが成功したかどうかは、インストール後にデバイスマネージャーのサウンド、ビデオ、およびゲームコントローラーのリストで確認できます)。
3. WIDI アプリを使用して、WIDICore の BLE の役割を「Force Peripheral」に設定し、複数の WIDI デバイスが同時に使用されるときに相互に自動的に接続されないようにしてください。必要に応じて、各 WIDI デバイスの名前を変更(再起動後に有効になるように名前を変更)できる

め、同時に使用するとき異なる WIDI デバイスを区別するのに便利です。

4. Windows 10/11 とコンピューターの Bluetooth ドライバーが最新バージョンにアップグレードされていることを確認してください(コンピューターには Bluetooth Low Energy 4.0 または 5.0 が装備されている必要があります)。
5. WIDI コアがインストールされている U4MIDI WC の電源を入れて起動します。Windows の[スタート]-[設定]-[デバイス]をクリックし、[Bluetooth とその他のデバイス]ウィンドウを開き、Bluetooth スイッチをオンにして、[Bluetooth またはその他のデバイスの追加]をクリックします。
6. [デバイスの追加]ウィンドウに入った後、[Bluetooth]をクリックし、デバイスリストにリストされている WIDICore デバイス名をクリックして、[接続]をクリックします。
7. 「デバイスの準備ができました」と表示されている場合は、[完了]をクリックしてウィンドウを閉じます(接続後、デバイスマネージャーの Bluetooth リストに WIDICore が表示されます)。
8. 手順 5 から 7 に従って、他の WIDI デバイスを Windows 10/11 に接続します。

注意: 上記の手順は、WIDI コアを WindowsBluetooth とペアリングするためだけのものであり、[接続済み]と短時間表示された後、WIDI の接続ステータスは[未接続]に変わります。次のステップで音楽ソフトウェアを開いたときにのみ、WIDICore の接続ステータスは自動的に[接続済み]に変わります。

9. 音楽ソフトウェアを開くと、MIDI 設定ウィンドウで、WIDICore デバイス名がリストに表示されます(Korg BLE

MIDI ドライバーは自動的に WIDI Bluetooth 接続を検出し、それを音楽ソフトウェアに関連付けます)。MIDI 入力および出力デバイスとして WIDICore を選択するだけです。

注: 音楽ソフトウェアの MIDI 設定ウィンドウに WIDICore デバイス名が表示されない場合は、CME の「WIDI 製品クイックガイド」の「Windows 接続のトラブルシューティング」セクションにアクセスして解決策を確認するか、support@cme-pro.com に電子メールを送信してサポートを依頼してください。

さらに、Windows ユーザー向けに WIDI Bud Pro および WIDI Uhost プロフェッショナルハードウェアソリューションを開発しました。これは、超低遅延と長距離ワイヤレス制御に対するプロフェッショナルユーザーの厳しい要件を最適に満たすことができます。詳細については、関連する製品ページ(www.cme-pro.com/widi-premium-bluetooth-midi/)をご覧ください。

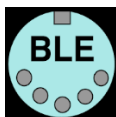
- **Android デバイスと WIDICore がインストールされている U4MIDI WC との間に Bluetooth MIDI 接続を確立します**

Windows の状況と同様に、音楽アプリは、Bluetooth MIDI デバイスに接続するために、Android オペレーティングシステムの一般的な Bluetooth MIDI ドライバーを統合する必要があります。ほとんどの音楽アプリは、さまざまな理由でこの機能を実装していません。したがって、Bluetooth MIDI デバイスをブリッジとして接続するために特別に設計されたいくつかのアプリを使用する必要があります。

ビデオ指導: <https://youtu.be/OP1obVXHYc>

1. 無料アプリ [MIDI BLE Connect] をダウンロードしてインストールします。

https://www.cme-pro.com/wp-content/uploads/2021/02/MIDI-BLE-Connect_v1.1.apk



2. WIDI コアが取り付けられた U4MIDI WC の電源を入れ、濃い青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
3. Android デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
4. MIDI BLE Connect アプリを開き、[Bluetooth スキャン] をクリックし、リストに表示される WIDI コアを見つけて [WIDI コア] をクリックすると、接続が成功したことが表示されます。同時に、Android システムは Bluetooth ペアリングリクエスト通知を発行しますので、通知をクリックしてペアリングリクエストを受け入れてください。この時点で、Android デバイスのホームボタンを押して、MIDI BLE Connect アプリを最小化し、バックグラウンドで実行し続けることができます。
5. 外部 MIDI 入力可能な音楽アプリを開き、設定ページで MIDI 入力デバイスとして WIDICore を選択して使用を開始します。

● 複数の WIDI デバイスとのグループ接続

複数の WIDI デバイスをグループ化して、最大[1-to-4 MIDI Thru]および[4-to-1 MIDI マージ]の双方向データ伝送を実現でき、複数のグループを同時に使用できます。

注:グループ内の他のブランドの Bluetooth MIDI デバイスを同時に接続する場合は、以下の「グループ自動学習」機能の説明を参照してください。

ビデオ指導: <https://youtu.be/ButmNRj8XIs>

1. WIDI アプリを開きます。
2. WIDI コアがインストールされている U4MIDI WC の電源を入れます。

注意: 複数の WIDI デバイスを同時にオンにしないと、自動的に 1 対 1 でペアリングされ、WIDI アプリが接続したい WIDI コアを検出できなくなります。

3. この WIDI コアの Bluetooth ロールを「Force Peripheral」ロールに設定し、名前を変更します。

注: デバイス名をクリックして、WIDI コアの名前を変更します。新しい名前を有効にするには、デバイスを再起動する必要があります。

4. 上記の手順を繰り返して、WIDI Core がインストールされているすべての U4MIDI WC(または他の WIDI デバイス)をグループに追加するように設定します。
5. U4MIDI WC(またはその他の WIDI デバイス)のすべての WIDI コアを「Force Peripheral」の役割に設定すると、同時に電源をオンにできます。
6. 「グループ」メニューをクリックし、「新規グループの作成」をクリックします。

7. グループの名前を入力します。
8. 対応する WIDI コアを中央と周辺の位置にドラッグアンドドロップします。
9. 「Download Group」をクリックすると、中央の WIDI Core に設定が保存されます。次に、これらの WIDI コアが再起動し、同じグループに自動的に接続します。

注 1: WIDI Core をインストールした状態で U4MIDI WC をオフにしても、すべてのグループ設定は WIDI Core セントラルのメモリに保存されます。再度電源を入れると、自動的に同じグループで接続されます。

注 2: グループ接続設定を削除する場合は、WIDI アプリを使用して中央である WIDICore に接続し、[グループ設定の削除]をクリックしてください。

注 3: グループセットアップに iOS 16(およびそれ以降)デバイスを使用する場合は、セットアップ後に iOS デバイスの Bluetooth スイッチをオフにするか、既存の WIDI ペアリングを忘れて、自動再接続による Bluetooth 占有を解除してください。

● グループ 自動学習

グループオートラーニング機能を使用すると、WIDI シリーズ製品と他のブランドの Bluetooth MIDI デバイスとの間に最大[1-to-4 MIDI スルー]および[4-to-1 MIDI マージ]グループ接続を確立できます。グループの中心デバイスとして操作する WIDI デバイスの「グループ自動学習」を有効にすると、デバイスは自動的にスキャンして使用可能なすべての BLE MIDI デバイスに接続します。

ビデオ指導: <https://youtu.be/tvGNiZVvwbQ>

1. すべての WIDI デバイスを「Force Peripheral」として設定して、WIDI デバイスが相互に自動的にペアリングされないようにします。
2. 選択した中央の WIDI デバイスの「グループ自動学習」を有効にします。WIDI アプリケーションを閉じます。WIDI LED ライトがゆっくりと濃い青色に点滅します。

注意: iOS 16(およびそれ以降)のデバイスを Group Auto-Learn のセットアップに使用する場合は、セットアップ後に iOS デバイスの Bluetooth スイッチをオフにするか、既存の WIDI ペアリングを忘れて、自動再接続による Bluetooth の占有を解除してください。

3. 最大 4 つの BLE MIDI 周辺機器(WIDI を含む)をオンにして、WIDI 中央デバイスに自動的に接続します。
4. すべての周辺機器が接続されている場合(中央のターコイズブルーの LED と周辺機器の LED の両方が常時点灯しています。MIDI クロックなどのリアルタイムデータが送信されている場合は、LED ライトがすばやく点滅します)、WIDI 中央デバイスのボタンを押して、グループをメモリに保存します。WIDI の中央 LED ライトは、押すと緑色、離すとターコイズ色になります。

注: iOS、Windows 10/11、Android は WIDI グループの対象外です。macOS の場合は、MIDI Studio の Bluetooth 設定で「広告」をクリックします。

仕様:

テクノロジー	USB MIDI クラスに準拠した USB クライアント(プラグアンドプレイ)
コネクタ	1x USB-C(クライアント) 2x 5 ピン MIDI DIN 入力、2x 5 ピン MIDI DIN 出力 1x DC 電源ソケット(外部 9V-500mA DC アダプターは含まれていません)
拡張	オプションの WIDI コア - プレミアム Bluetooth MIDI
LED インジケータ	7 つの LED ライト((WIDI LED インジケータは、WIDI コア拡張モジュールが取り付けられている場合にのみ点灯します)
ボタン	プリセットやその他の機能用の 1x ボタン オプションの WIDI 用の 1x ボタン (WIDI コア拡張モジュールがインストールされた後にのみ有効になります)。
対応デバイス	USB MIDI プラグアンドプレイをサポートするコンピューターと USB MIDI ホストデバイス 標準 MIDI ソケットを備えたデバイス(5V および 3.3V 互換を含む)
対応 OS	macOS、iOS、Windows、Android、Linux 、 Chrome OS
MIDI メッセージ	ノート、コントローラー、クロック、sysex、MIDI タイムコード、MPE など、MIDI 規格のすべてのメッセージ
有線伝送	ゼロレイテンシーとゼロジッターに近づく
電源	USB-C ソケット。標準の 5V USB バスまたは充電器から給電

	DC 9V-500mA ソケット (5.5mm x 2.1mm)、極性は外側が正、内側がマイナスです
設定 と ファームウェアのアップグレード	UxMIDI ツールソフトウェアを使用して USB-C ポート経由で設定/アップグレード可能(USB ケーブル経由の Win/Mac/iOS および Android タブレット)
消費電力	154 mW
大きさ	140 mm (L) x 38 mm (W) x 33 mm (H) 5.51 インチ(L)x 1.50 インチ(W)x 1.30 インチ(H)
重量	99 g / 3.49 オンス
WIDI コア (オプション)	
テクノロジー	Bluetooth 5(Bluetooth Low Energy MIDI)、双方向 16MIDI チャンネル
対応デバイス	WIDI マスター、WIDI ジャック、WIDI Uhost、WIDI Bud Pro、WIDI コア、WIDI BUD、標準 Bluetooth MIDI コントローラー。Mac/iPhone/iPad/iPod Touch/Vision Pro、Windows 10/11 パソコン、Android モバイルデバイス(すべて Bluetooth Low Energy 4.0 以上搭載)
対応 OS(BLE MIDI)	macOS Yosemite 以降、iOS 8 以降、Windows 10/11 以降、Android 8 以降
ワイヤレス伝送 遅延	最短 3 ミリ秒 (Bluetooth 5 接続に基づく WIDI コア搭載の U4MIDI WC を 2 台使用した場合のテスト結果)
範囲	20 メートル/ 65.6 フィート(障害物なし)

ファームウェアのアップグレード	iOS または Android 用の WIDI アプリを使用した Bluetooth 経由のワイヤレスアップグレード
重量	4.4 g / 0.16 オンス

仕様は予告なく変更される場合があります。

FAQ

- **U4MIDI WC の LED ライト が点灯しません。**
 - コンピュータの USB ソケットに電源が供給されているか、電源アダプタに電力が供給されているか確認してください。
 - USB 電源ケーブルが破損していないか、DC 電源の極性が間違っていないか確認してください。
 - USB パワーバンクを使用する場合は、低電流充電モード(Bluetooth イヤホンやスマートブレスレットなど)があり、自動省電力機能がないパワーバンクを選択してください。
- **MIDI キーボードを演奏しているときに、コンピューターは MIDI メッセージを受信しません。**
 - 音楽ソフトウェアで U4MIDI WC が MIDI 入力デバイスとして正しく選択されているかどうかを確認してください。
 - UxMIDI ツールソフトウェアを使用してカスタム MIDI ルーティングまたはフィルタリングを設定したことがあ

るかどうかを確認してください。電源投入状態でボタンを5秒間押し続けてから離すと、インターフェイスを工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。

- **外部サウンドモジュールは、コンピューターで再生された MIDI メッセージに応答していません。**

- 音楽ソフトで U4MIDI WC が MIDI 出力デバイスとして正しく選択されているか確認してください。
- UxMIDI ツールソフトウェアを使用してカスタム MIDI ルーティングまたはフィルタリングを設定したことがあるかどうかを確認してください。電源投入状態でボタンを5秒間押し続けてから離すと、インターフェイスを工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。

- **インターフェースに接続されたサウンドモジュールに、長い音符または乱れた音符があります。**

- この問題は、MIDI ループバックが原因である可能性が最も高いです。UxMIDI ツールソフトウェアを介してカスタム MIDI ルーティングを設定しているかどうかを確認してください。電源投入状態でボタンを5秒間押し続けてから離すと、インターフェイスを工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。

- **Bluetooth デバイスが見つかりません。**

- WIDI コア拡張モジュールが U4MIDI WC の内部スロットに正しく挿入され、WIDI インジケーターがゆっくり点滅していることを確認してください。

- WIDI インジケーターが点灯している場合は、BluetoothMIDI デバイスに自動的に接続されていることを意味します。P は、接続する必要のない他の Bluetooth MIDI デバイスの電源を切って、再試行してください。
- **U4MIDI WC は、拡張された WIDI コアを介して MIDI メッセージを送受信することはできません。**
- DAW ソフトウェアで MIDI 入力および出力デバイスとして WIDI Core Bluetooth が選択されているかどうかを確認してください。
- Bluetooth MIDI 接続が正常に確立されたか確認してください。
- U4MIDI WC と外部 MIDI 機器間の MIDI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- **U4MIDI WC の WIDI コアモジュールの無線接続距離が非常に短い、遅延が高い、または信号が断続的である。**
- WIDI Core は、無線信号伝送に Bluetooth 規格を採用しています。信号が強く干渉またはブロックされると、伝送距離と応答時間に影響が及びます。これは、樹木、鉄筋コンクリートの壁、または他の多くの電磁波がある環境によって引き起こされる可能性があります。これらの干渉源を避けるようにしてください

接触

E メール: info@cme-pro.com

ウェブサイト: <http://www.cme-pro.com/support/>